

おもいやり通信

発行:社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日:平成 30 年 11 月 29 日

第32号



秋晴れがこちよ季節となり、園庭やグラウンドには子どもたちの歓声が響いています。子どもたちにもたくさん友だちができ、時にはトラブルになることもあります。毎日元気に園での生活を楽しんでいます。

今年度も保護者の皆様と連携して「思いやり保育」を推進してきましたが、その目的の一つとして、親子の絆を深めてほしいという願いがあります。

親子の絆は、乳幼児期にしっかりと伸ばしてあげなくてはいけない、子どもの共感力、意欲、自己抑制力、対人スキルなどの「非認知能力」を伸ばすためにとても大切です。

そのためにも、思いやり3原則「手伝う、励ます、ありがとう」を園でも家庭でも習慣化して、温かい気持ちで、楽しく生活していきましょう。

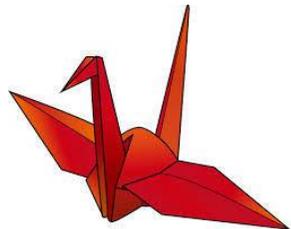
ありがとう



<心を込める・心を送る活動展開>

「おもいやり千羽鶴」

現在700羽



思いやり千羽鶴の提出、ありがとうございます。思いやり千羽鶴の活動も8ヶ月が過ぎ、子どもたちをはじめ、保護者の皆さん、地域の皆さん、園の取引先の皆さん等、多くの方々の協力により、鶴は現在700羽集まっています。今年度も残りあと4ヶ月です。千羽鶴の完成目指して、思いやり活動を実践していきましょう。完成した千羽鶴を卒園式で飾りたいと思いますので引き続きご理解とご協力をお願いします。

ご家庭へのお願い

思いやり集会が行われる週(6・9・11・2月)を思いやり週間とし、鶴の提出を呼びかけます。各クラスのカラーの折り紙を使用し、基本、思いやり集会当日に子どもたちが折れるところまで折り、夕方、個人の専用の袋に入れて保護者へ渡します。保護者が続きを折り進め鶴を完成させ、羽の部分に心を込めた思いやりメッセージを記入して1週間の間に提出していただきたいと思ひます。

みんなの力を結集し、心のこもった千羽鶴を!

思いやり集会で心も笑顔になりました

平成30年11月5日(月)に今年度3度目の思いやり集会を行いました。今回は、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」の合唱の後、園長先生の話、各クラスから思いやり行動の発表、最後に思いやり劇「おおきなかぶ」を各クラスの代表も参加して行いました。みんな大喜びでした。これからも思いやり三原則「手伝う、励ます、ありがとう」が自然に行えるよう思いやり保育に取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



<おもいやりテーマ>

年間を通して実践していきましょう

思いやり3原則(手伝う・励ます・ありがとう)

- ①手伝う(他の人のために喜んで手伝おう)
- ②励ます(元気づけよう、応援しよう、優しい心を送ろう)
- ③ありがとう(感謝の心でありがとうを伝えよう)



集まった鶴は、清風の道に飾っていきます



出来上がった鶴は現在700羽です

思いやりの心を育むポイント

1. 相手の気持ちを一緒に考える

人を思いやるには、「相手がどのような気持ちか」を考える力、共感できる力が必要です。

★自分の気持ちを客観視できるような声掛け

「あの時はどんな気持ちだった？」

「どうして譲ってあげられなかったのかな」

★他者の気持ちを想像させる声掛け

「あの子はどんな気持ちだったと思う？」

「こんなことを言われてあの子はどう思ったかな？」

など、こうしたコミュニケーションが相手の気持ちを感じ取る活動になります。



2. 遊びが思いやりを育てる

・働くパパ

・赤ちゃんを育てるママ

・先生

・ヒーロー

◎他人の気持ちを考えなければ演じられません。

★絵本を読む…登場人物の気持ちに寄り添うことを覚える

・「こういうことをしてはダメ」ということを知る



3. ものを大切にすることを教える

人だけでなく、動物、食べ物、草花、すべてのものに「感謝」の気持ちを持たせることも大切です。

★「いただきます」「ごちそうさま」…食事に感謝をする

★自分より小さな動物を大切に扱う

◎ものを大切にすれば、他人の大切なものや、他人の気持ちも大切に扱うようになります。



ちょっといい話

～頼もしく、うれしくなる話～

<地域の方からある学校に届いたメッセージです>

昨日、家の周辺の除雪をしていたら、3年生のN君がスコップを持ってきて「除雪を手伝いましょうか？」と声をかけてくれました。聞くと、我が家に来る前に、近くの80歳代のおばあちゃんのところの除雪を終えてきたということでした。我が家は自分達夫婦のできるのので、「隣の90歳代のおばあさんのところへ行ってあげて」とお願いしたら、快く行ってくれ、そのおばあさんも大変喜んでくれました。

挨拶も気持ちがよく、家庭はもちろん、日頃の学校での指導もいいのだろうと思い、連絡をさせていただきました。先生方によろしくお伝えください。という内容です。

雪が降ると子供は大喜びですが、高齢者にとっては除雪作業が大変です。そんな中で、自ら進んで地域の高齢者のため、人のために働けるのは本当に素晴らしいなと思います。「今だけ、金だけ、自分だけ」の人が多と言われる中であって、こういう生徒が本校にいることを誇りに思います。小さなことでも人の役に立ったり、周りが喜んでくれたりすることが普通にできる生徒をどんどん増やしていきたいと改めて思いました。

(広島県教育委員会・豊かな心を育てる道徳教育コーナーより抜粋)



～初めてのお手紙～

先日、5歳と4歳の孫2人を2日間預かりました。愛いお手紙が届きました。「おばあちゃん、いつもどう。大好きなおばあちゃんへ。」

たったこれだけの言葉なのですが、嬉しくて嬉しくて、涙が出そうになりました。他に手作りのドーズ小物なども入っており、思わ



可
が